

12月13日及び14日、今年で3回目となる国際女性会議WAW! (World Assembly for Women : WAW!2016)を開催。我が国及び26カ国・11国際機関から93名が参加。

公開フォーラム (12月13日)

● 冒頭挨拶：安倍晋三内閣総理大臣

本年のテーマ「**WAW! for Action**」のもと、「行動」を通じて「意識」を変え、あらゆる人が様々な制約を乗り越えて自分らしく活躍できるような社会を目指す。途上国の女性のために、2018年までに総額約30億ドル以上の取組を約束。

● 基調講演：マーニー・レヴィーンインスタグラムCOO

自身の経験や取組も踏まえ、テクノロジーを活用してより柔軟な労働環境を実現できること等、ワーク・ライフ・マネジメントや女性の社会での活躍を推進する上での先駆的な提案を行った。

● パネル・ディスカッション

1. 女性が担う平和な社会づくり
2. スポーツと女性



● 挨拶：榊原経団連会長，小池都知事，ムランボ＝ヌクカ UN Women事務局長

● ビデオメッセージ：アウン・サン・スー・チャー・ミャン マー国家最高顧問，澤穂希元サッカー日本代表選手



ハイレベル・ラウンド・テーブル（12月14日）

14日は、5つのハイレベル・ラウンド・テーブルと2つのスペシャル・セッションを実施。各ラウンド・テーブルからの具体的な提案を元に成果文書となるWAW! To Do 2016を作成予定。



林文子横浜市長



安倍昭恵
内閣総理大臣夫人



ライモ・ペルシネン
スウェーデン国会議員

ドルジ・チョデン
ブータン公共事業居住大臣／女
性・子供のための国家委員会会長



加藤勝信
女性活躍・男女共同参画担当大臣



ヘレン・クラーク
UNDP 総裁



ハイレベル・ラウンド・テーブル

- STEM（科学・技術・工学・数学）分野における女性の人材育成・活躍促進
- 女性のリーダーシップの推進
- ワークライフ・マネジメント 2.0
- 女性の健康を考えるー特に性と生殖に関する健康と権利の向上に関連して
- 平和・安全保障における女性の参画とエンパワーメント

スペシャル・セッション

- ユース・テーブル：若者が作りたいジェンダー平等社会とは～現状と課題～
- 地方からのイノベーション：女性が「真」に輝く社会とは？